

政策番号	9	政策分野	観光
------	---	------	----

基本方針	<p>京都観光の「質の向上」にこれまで以上にこだわり、感動の先にある「あこがれ」や「尊敬」を持っていただける「世界があこがれる観光都市」を実現するため、「人づくり、まちづくり」、「魅力の向上、誘致手法」、「魅力の発信、コミュニケーション」、「MICE戦略」を柱とした取組を推進する。</p> <p>また、京都の都市特性を生かした世界に冠たる国際MICE都市～国際会議、企業研修旅行、イベント等による国際集客都市～への飛躍を目指す。</p>
------	---

担当局	産業観光局	共管局	
-----	-------	-----	--

政策に関係する 主な分野別計画等	京都観光振興計画2020,京都市MICE戦略2020
---------------------	----------------------------

政策の評価

1 客観指標評価

政策の客観指標評価		25年度 評価値	32年度 目標値	25年度	26年度	27年度評価				
						前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1	観光消費額(億円)	7,002	10,000	-	-	7,002	7,621	7,300	104.4%	a
2	外国人宿泊客数(万人)	113	300	-	-	113	183	130	140.8%	a
3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
				b	d					a

施策の客観指標評価		評価		
施策番号	施策名	25年度	26年度	27年度
0901	観光スタイルの質の向上(4指標)	a	a	a
0902	観光都市としての質の向上(2指標)	b	a	a
0903	国際MICE都市～国際会議、企業研修旅行、イベント等による国際集客都市～への飛躍(3指標)	a	c	a
(3施策平均)		a	a	a

政策の客観指標総合評価	25年度	26年度	27年度
(政策の客観指標評価:施策の客観指標評価=1:0.5)	—	c	a

2-1 市民生活実感評価

番号	設問	評価		
		25年度	26年度	27年度
1	じっくり滞在し、ほんものとふれあい、歩いて楽しむ観光客が増えている。	b	b	b
2	京都は、観光客にとって質の高い観光都市である。	a	a	a
3	京都市民は、四季折々の京都観光を楽しんでいる。	b	b	b
4	京都は、市民にとってくらしやすい観光都市である。	b	b	b
5	京都市民は、観光客を温かく迎えるなど、京都観光の振興に協力的である。	a	a	a
6	子ども連れの家族や若者、ビジネス客など、新たな京都ファンが増えている。	b	b	b
7	京都は、国際会議などが盛んに開かれるMICE(企業のミーティング、企業研修旅行、国際会議、イベントなどの総称)都市になってきている。	b	b	b
市民生活実感調査総合評価		a	a	a

2-2 政策の重要度(27政策における市民の重要度)

25年度		26年度		27年度	
順位	%	順位	%	順位	%
18	80.6%	17	82.2%	17	79.0%

3 総合評価

A	政策の目的が十分に達成されている		
<p>【客観指標】●観光消費額については、観光客数や外国人宿泊客数の増加に伴い、平成25年比619億円増となり、a評価となった。</p> <p>●外国人宿泊客数については、Wifi整備や観光案内標識グレードアップなどの受入環境整備、海外情報拠点を活用した海外への情報発信等の効果もあり、平成25年から大幅に増加し、a評価となった。</p> <p>【市民の実感】●京都が観光客にとって質の高い都市であると高く評価されていることをはじめ、全ての設問が3年連続でa又はb評価となり、かなり肯定的に評価されていることから、観光都市、国際MICE都市としての魅力が市民にも浸透していることがうかがわれる。</p> <p>●また、京都市民が京都観光を楽しんでいるか、観光振興に協力的かといった設問に対しては、かなり肯定的に評価されており、特に「京都市民は、観光客を温かく迎えるなど、京都観光の振興に協力的である」との問いは、24年度評価ではb評価であったのに対し、3年連続a評価となった。</p> <p>【総括】客観指標、市民生活実感がともにa評価となり、総じて取組に見合った実感を得た。こうしたことを総合的に勘案し、この政策の目的は十分に達成されていると評価する。</p>		26年度	B
		25年度	B

今後の方向性の検討

<この政策を構成する施策とその総合評価(客観指標評価+市民生活実感評価)>

施策番号	施策名	総合評価		
		25	26	27
0901	観光スタイルの質の向上	B	B	B
0902	観光都市としての質の向上	A	A	A
0903	国際MICE都市～国際会議、企業研修旅行、イベント等による国際集客都市～への飛躍	B	B	B

<今後の方向性>

- 日本の精神性を体現した上質な文化、奥深さなどを持つ京都の魅力を更に磨き、世界に向けて観せる、そして市民ぐるみの取組をはじめとする徹底した安心・安全の確保、ユニバーサルツーリズムの推進、外国人観光客に対応する環境整備を重点的に進めるなど、京都ならではの地域力、人間力をいかして「誰もが安心安全に、笑顔で楽しく暮らし、観光できる、やさしさあふれるおもてなしのまちづくり」を進め、50年後、100年後も世界の京都として輝き続けるまちを目指す。
- 京都観光の「質の向上」にこれまで以上にこだわり、感動の先にある「あこがれ」や「尊敬」を持っていただける「世界があこがれる観光都市」を実現するため、「人づくり、まちづくり」、「魅力の向上、誘致手法」、「魅力の発信、コミュニケーション」、「MICE戦略」を柱とした取組を推進する。
- 世界に冠たる国際MICE都市の実現に向け、引き続きMICE推進のための組織との連携強化や、京都会館等の整備による岡崎地域の機能強化を図る。

政策名	9	観光										
指標名	観光消費額（億円）											
担当部室	観光MICE推進室	連絡先	7 4 6 - 2 2 5 5									
1 指標の説明												
観光に関する京都の観光消費額												
2 指標の意味		3 算出方法・出典等										
京都観光が目指す、「世界があこがれる観光都市」に向けた進み具合を示す指標		出典：京都観光総合調査										
4 数値												
10年後の（平成32年度）目標値	平成27年度評価値	平成32年度目標値	根拠									
	7,002	10,000	京都観光振興計画2020									
	前回数値 25年	最新数値 26年	推移	単年度目標値								
				数値	根拠	達成度						
数値	7,002	7,621	619億円増	7,300	平成25年実績（7,002億円）と平成32年目標値から設定	104.4%						
	全国順位	中長期目標			備考	平成26年度に策定した「京都観光振興計画2020」に基づき、「京都で感動した観光客の割合（%）」から指標を変更した。						
		数値	目標年次	達成度			根拠					
数値												
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果								
最新数値の目標値に対する達成度が a：100% b：80%以上～100%未満 c：60%以上～80%未満 d：40%以上～60%未満 e：40%未満		当該指標については、民間部門の寄与度が比較的高く、景気動向にも影響を受けるものの、目標を上回ることとは不可能ではないため、100%をa、以下20%刻みで基準を設定した。		<table><tr><td>25</td><td>26</td><td>27</td></tr><tr><td>-</td><td>-</td><td>a</td></tr></table>			25	26	27	-	-	a
25	26	27										
-	-	a										

指標名	外国人宿泊客数（万人）											
担当部室	観光MICE推進室	連絡先	7 4 6 - 2 2 5 5									
1 指標の説明												
京都で宿泊される外国人観光客数												
2 指標の意味		3 算出方法・出典等										
京都観光が目指す、「世界があこがれる観光都市」に向けた進み具合を示す指標		出典：京都観光総合調査										
4 数値												
10年後の（平成32年度）目標値	平成27年度評価値	平成32年度目標値	根拠									
	113	300	京都観光振興計画2020									
	前回数値 25年	最新数値 26年	推移	単年度目標値								
				数値	根拠	達成度						
数値	113	183	70万人増	130	平成25年実績（113万人）と平成32年目標値から設定	140.8%						
	全国順位	中長期目標			備考	平成26年度に策定した「京都観光振興計画2020」に基づき、「京都で感動した観光客の割合（%）」から指標を変更した。						
		数値	目標年次	達成度			根拠					
数値												
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果								
最新数値の目標値に対する達成度が a：100% b：80%以上～100%未満 c：60%以上～80%未満 d：40%以上～60%未満 e：40%未満		当該指標については、民間部門の寄与度が比較的高く、景気動向にも影響を受けるものの、目標を上回ることとは不可能ではないため、100%をa、以下20%刻みで基準を設定した。		<table><tr><td>25</td><td>26</td><td>27</td></tr><tr><td>-</td><td>-</td><td>a</td></tr></table>			25	26	27	-	-	a
25	26	27										
-	-	a										